

平成23年度（第1回） 小金井市地域公共交通会議

日 時 平成23年7月20日（水）午後3時～
場 所 A会議室（小金井市市民会館「萌え木ホール」）

会議次第

- 1 あいさつ
小金井市長 佐藤和雄
- 2 委員の紹介
- 3 市事務局の紹介
- 4 議 題
 - (1) 会長・副会長の選出
 - (2) 小金井市コミュニティバスの経過について
 - (3) 小金井市コミュニティバス市民・利用者アンケート調査の結果について
 - (4) 貫井前原循環の早朝便及びルート延長に対する運行事業者の提案について
 - (5) 東町循環の始発・終発時間の拡大について
 - (6) 野川・七軒家循環の乗り残しについて
 - (7) その他

〔資料〕

- (1) 小金井市コミュニティバスの経過
- (2) コミュニティバス市民・利用者アンケート調査の結果について
- (3) 貫井前原循環、東町循環、野川・七軒家循環の提案及び報告について
- (4) C o C oバス、C o C oバス・ミニ年度別収支表
- (5) 小金井市地域公共交通会議設置要綱
- (6) 小金井市地域公共交通会議委員名簿
- (7) C o C oバスパンフレット

小金井市コミュニティバスの経過

平成12年度	市内公共交通機関検討調査	「基礎調査」
	①交通現況	鉄道交通:市域の殆んどが鉄道利用不便地域。JR 中央線の踏切が「開かずの踏切」で、南北の市街地を分断している。 バス交通:路線全体が市域西側に偏っている。
	交通の問題点・課題の整理	交通環境は、中央本線の連続立体交差をはじめとする根幹的な都市基盤整備水準から、生活道路の整備水準まで幅広い課題を抱えている。 市民の生活における交通サービス水準を早急に向上させるため、公共交通サービスの向上が急務であり、路線バス事業の拡充の要望と共に、新たな公共交通サービスの導入が課題となっている。
	②公共交通施策の検討	・公共交通不便地域の解消 ・各公共交通機関相互の乗り継ぎ利便性の向上 ・多様な市民ニーズに対応したきめ細かな公共交通サービスの提供 ・高齢者等にも利用しやすい公共交通サービスの提供
③公共交通施策の導入を必要とする地域の選定	4 地区(東町、緑町、貫井南、前原町)の公共交通不便地域の各種指標、利用者意向調査による評価検討の結果、「緑町」及び「貫井南・前原町地区(地形的な連続性から1つの地域とする)」を、コミュニティバス等の導入について優先度が高い地域として抽出し、運行ルート案の検討を行うものとする。	
平成13年度	小金井市コミュニティバス等導入検討委員会(H13.06.28~H14.03.31)	
	コミュニティバス等導入検討調査	「基礎調査」で検討したコミュニティバス等の導入に関し、事業化の評価の高い施策及び導入対象地域を選定し、その施策について平成14年度の事業化をめざした実施計画を検討・作成することを目的として実施
	①利用意向調査	アンケート調査約2,000通、グループインタビューを実施した。
	②導入すべき施策及び対象地域の選定	「緑町」、「貫井南・前原町地区」を導入候補、「東町」を今後検討する地域として位置づけた。 緑町を第1の運行ルートとして選定
	③実施計画の検討・作成	1周約6.4Km(所要約40分)の反時計回り循環ルート、2台のバスで20分間隔で運行。 料金は100円、バス停は概ね200m間隔で設置。 運行は、バス事業者に依頼する。
平成14年度	コミュニティバス等事業化調査	
	①実施準備作業	運行事業者の選定、運行ルートの詳細検討、導入車両の検討、周知活動の実施
	②試行	実験運行期間 H15年3月1日~31日
	③本格導入	平成15年3月北東部循環が事業化

平成16年度	平成16年12月16日	北東部循環 運行時間の延長
	平成17年3月20日	貫井前原循環、東町循環 運行開始
平成17年度	平成17年4月26日	中町循環 運行開始
	平成18年3月16日	北東部循環 平日朝の増便(7時~8時30分を15分間隔)
平成18年度	<p>平成13年度の小金井市コミュニティバス等導入検討委員会で抽出しながら積み残しとなっている「前原町地区」に、ミニバス導入を視野に入れての検討が開始された。</p> <p>運行事業者を選定する段階で、バス事業者が採算性の問題から辞退を表明した結果、タクシー事業者の中から選定することとなった。</p>	
平成19年度	運行事業者の選定、導入車両の検討、ルートの検討	
平成20年度	<p>道路運送法第21条の許可(H20年8月1日~H21年7月31日)</p> <p>平成20年9月7日 ココバス・ミニ(野川・七軒家循環)運行開始</p>	
平成21年度	平成21年10月1日	地域公共交通会議発足
	<p>平成21年3月19日 武蔵小金井駅南口交通広場が暫定オープン 市域南側を運行する貫井前原循環、中町循環及び野川・七軒家循環の3路線が、武蔵小金井駅南口に乗り入れるルートに変更された。</p> <p>当該ルート変更に伴い、ココバス・ミニ(野川・七軒家循環)は新たな社会実験(試験運行)を開始し、新たな道路運送法第21条の許可期間(H21年8月1日~H22年7月31日)が許可された。</p>	
	平成22年2月19日	平成21年度第2回会議において、ココバス・ミニの本格運行に関する「同意書」の提出について、全会一致で決議された。
平成22年度	平成22年5月13日	国土交通省関東運輸局長宛「同意書」を提出
	平成22年7月16日	ココバス・ミニの本格運行の許可取得
	小金井市コミュニティバス利用者意向調査を実施	
平成23年度	平成23年4月1日	地域公共交通会議改選

コミュニティバス市民・利用者アンケート調査の結果について

1. 調査の背景と目的

小金井市では、コミュニティバス・COCOBASの運行が、平成15年春の北東部循環から始まり、平成17年からは貫井前原循環、東町循環及び中町循環を含む計4路線、平成20年9月からは坂下地区におけるCOCOBAS・ミニの運行へと繋がり、現在5路線のCOCOBASが運行するに至り、各路線全体で年間約100万人に利用され、市民の便利な足として定着しつつある。

そのような中、駅前広場の整備、JR中央線沿線地区のまちづくりの推進、また、JR中央線の立体化によって南北踏切が解消され、市内の交通環境が改善され、市民ニーズが変化している状況にある。

この様な交通環境の変化は、小金井市コミュニティバスや路線バスといった公共交通を取り巻く環境にも大きな変化を与えることから、市内公共交通のあり方を含め、コミュニティバスの将来像について、市民の意向を反映した検討を行い、さらに利便性の高い公共交通を目指す必要がある。

現状として、小金井市コミュニティバスは運行開始より7年余りが経過し、北東部循環は一部ルート・ダイヤの変更が行われたが、その他のルートに対する市民要望への対応や、利用状況の低い路線の改善策等の検討が行われていない。

そこで市内交通環境の変化を展望しつつ、市民や利用者等の意向を把握し、コミュニティバスをより利便性の高い交通システムとしていくため、調査を行うものである。

2. 調査内容

(1) 市民アンケート調査

15歳以上の市民2,000名を無作為抽出し、調査票を郵送配布、郵送回収した。調査内容は市内の交通利用状況、「COCOBAS」の運行についての希望等である。

※ 調査期間 平成22年10月20日(水)～平成22年11月14日(日)まで

(2) 利用者アンケート調査

「COCOBAS」の各ルート(5路線)の利用者を対象に、手渡しにてアンケート調査票を配布し、郵送にて回収した。調査内容は「COCOBAS」の利用実態、利用目的、運行についての希望等である。

※ 調査日 平成22年10月27日(水)

(3) グループインタビュー調査

「COCOBAS」の各ルート別に、市内鉄道駅前にて実施した。調査内容は「COCOBAS」

○バス」の利用実態、利用目的、運行についての希望等である。

※ 調査日 平成 22 年 12 月 4 日 (土) ~平成 22 年 12 月 5 日 (日)

3. 配布回収状況

市民アンケート及び利用者アンケート、グループインタビューの配布回収状況は以下のとおり。回収率の高さからコミュニティバスへの市民の関心が高い傾向にある。

市民アンケート及び利用者アンケート

アンケート調査	配布枚数	合計	回収率
市民	2,000	988	49.4%
利用者	1,540	771	50.1%

グループインタビュー

	土曜日	日曜日	合計
北東部循環	23	27	50
貫井前原循環	26	17	43
東町循環	10	11	21
中町循環	10	17	27
野川・七軒家循環	20	26	46
合計	89	98	187

6. 課題分析、改善策検討

市民アンケート調査および利用者アンケート調査で要望された意見を集約し課題を抽出し、その改善策を検討した。

(1) 北東部循環

< 課題 >

循環型のため進行方向には便利だが、往復どちらかのルートが不便になるので利用しにくい。

- ・利用者アンケートでは、往復利用が45.3%と全体の平均よりも低い。
- ・一周の距離が長いので、逆方向へは時間がかかる。

北東部には「C o C oバス」を利用できない地域がある。

- ・市民アンケートでは、貫井北町の「C o C oバス」利用比率が21.3%と市内で最低である。
- ・貫井北町では近くに「C o C oバス」路線がないのが原因である。
- ・貫井北町には路線バスが運行しており、「C o C oバス」が入りにくいエリアである。

北東部は1路線なので色々な場所に行けないので不便である。

- ・駅南には4路線あり、不公平である。

終バスが早いので通勤に利用しづらい。

- ・往復利用が少ない原因の1つである。

保健センターや学芸大学方面へは「C o C oバス」では行けない。

- ・この方面には路線バスが運行しており、「C o C oバス」が入りにくい。

< 改善策検討 >

特徴

始発が7:00から運行しており7:00~8:30までは15分間隔、8:40~は20分間隔で終バスが20:00である。このため通勤での利用が35.0%と路線の中では最も多い。

逆回りルートの問題の改善策

- ・逆ルートではバス停を反対側にも新設する必要がある。場所の確保が問題である。
- ・現行のバス台数で逆回りを運行すると同一方向へのサービス水準は1/2に減少する。
- ・バス台数を2倍にして逆回りを運行しても、需要が2倍にはならないので、収益は悪化する。



- ・現行の循環ルートを分割することで、距離を短くし一周の時間を短縮し、逆回りの時間を短縮することで検討する。

「C o C oバス」を利用できない地域がある問題の改善策

- ・現行の路線バスが運行している地域であり、同じ道路を通るのは難しい。



・交通規制、道路幅員、信号機などの制約と現行の路線バスの運行ルートを考慮しながら検討する。ただし、「C o C oバス」の運行によって路線バスが廃止になることが無いように考える必要がある。

北東部は1路線なので色々な場所に行けない問題の改善策



- ・ の改善策で解決を図る。

終バスが早いので通勤に利用しづらい問題の改善策



- ・ 現行のバス台数で運行可能な時間まで延長できるか検討する。

(2) 貫井前原循環

<課題>

9時からの運行であるため通勤に利用できない。

- ・スクールゾーン規制のため9時以前には走行できない道路がある。
- ・市民アンケートでは始発を早める要望が42.8%あり、5路線の中では最も高い。

東八道路から南側ではC o C oバスが利用できない地域がある。

- ・東八道路には路線バスが多く走行しておりC o C oバスが入りにくい。

終バスが早いので通勤に利用しづらい。

- ・利用者アンケートでは、終バスを遅くする要望が44.7%ある。

朝は渋滞があり、武蔵小金井駅までの戻りの所要時間が長い。

- ・駅に直行で戻るのに通常の2倍の時間がかかることがある。
- ・利用者アンケートでは遅れて運行すると答えた比率が33.5%あり、5路線の中では最も高い。

<改善策検討>

特徴

始発が9:00から運行しており19:00までは20分間隔である。このため「通勤」での利用が25.7%と少なく、「私用(雑事)」の比率が高い。

始発終発時刻については「始発を早くしてほしい」が42.8%と5路線の中では最も多い。

循環型でも往復ルートの重複が多いため「往復」利用が50%を若干超えている。

9時からの運行であるため通勤に利用できない問題の改善策



- ・9時以前はスクールゾーン規制があるため、別の道路を通行することで改善できるか検討する。
- ・バスの運行本数を確保するためにも、時間短縮となるルートを検討する。
- ・交通規制、道路幅員、信号機などの制約と現行の路線バスの運行ルートを考慮しながら検討する。

東八道路から南側ではC o C oバスが利用できない地域がある問題の改善策



- ・現況のルートから延伸することで可能か検討する。
- ・交通規制、道路幅員、信号機などの制約と現行の路線バスの運行ルートを考慮しながら検討する。

終バスが早いので通勤に利用しづらい問題の改善策



- ・現行のバス台数で運行可能な時間まで延長できるか検討する。

朝は渋滞があり、武蔵小金井駅までの戻りの所要時間が長い問題の改善策



- ・ の対策の中で検討する。

(3) 東町循環

<課題>

連雀通りから南側では「COCOバス」を利用できない地域がある。

- ・連雀通りから南側には道路幅員が狭く、COCOバスが出入りしにくい。

9時からの運行であるため通勤に利用できない。

- ・市民アンケートでは始発を早める要望が37.4%であり、貫井前原循環について多い。

終バスが早いので通勤に利用しづらい。

- ・市民アンケートでは最終バス発を遅くする要望が46.5%であり、5路線の中では最も多い。

30分間隔であるので待ち時間が長い。

- ・利用者アンケートでの増便の要望は35.4%である。

中町循環への乗換が不便である。

- ・武蔵小金井駅、市役所方面に行きにくい。
- ・グループインタビューで、今のダイヤでは中町循環との乗り継ぎが不便との指摘がある。

<改善策検討>

特徴

始発が9:00から運行しており19:00までは30分間隔である。このため「通勤」での利用が22.9%と少なく、他の利用目的も平均的で特徴的な利用は見当たらない。

始発終発時刻については「始発を早くしてほしい」が37.4%と路線の中では2番目に多い。

連雀通りから南側では「COCOバス」を利用できない地域がある問題の改善策



- ・現況のルートから延伸することで可能か検討する。
- ・交通規制、道路幅員、信号機などの制約と現行の路線バスの運行ルートを考慮しながら検討する。

9時からの運行であるため通勤に利用できない問題の改善策



- ・現行のバス台数で運行可能な時間まで早められるか検討する。

終バスが早いので通勤に利用しづらい問題の改善策



- ・現行のバス台数で運行可能な時間まで延長できるか検討する。

30分間隔であるので待ち時間が長い問題の改善策



- ・一周の所要時間が短縮可能か検討する。
- ・現行のバス台数で運行本数を増やせるか検討する。

中町循環への乗換が不便である問題の改善策



- ・中町循環とのルートの接続または一体化を考えて改善することを検討する。

(4) 中町循環

<課題>

東小金井駅に行かないので不便である。

- ・東町循環との接続が不便である。

終バスが早いので利用しづらい。

- ・市民アンケートでは始発よりも終バスを遅くする意見の方が多い。

30分間隔であるので待ち時間が長い。

- ・利用者アンケートでは運行本数の増加が39.0%で5路線の中では2番目に多い。

<改善策検討>

特徴

始発が9:00から運行しており19:00までは30分間隔である。このため「通勤」での利用が9.1%と少なく、買物が42.9%と路線の中では最も高いのが特徴である。

始発終発時刻については、始発終発については5路線の平均に近くそれほどの強い要望ではない。循環型でも往復ルートが距離的に近い中町では「往復」利用が50%を若干超えている。

東小金井駅に行かないので不便である問題の改善策



- ・東町循環との接続性の向上の可能性を検討する。
- ・中町循環と東町循環との一体化を検討する。
- ・交通規制、道路幅員、信号機などの制約と現行の路線バスの運行ルートを考慮しながら検討する。

終バスが早いので利用しづらい問題の改善策



- ・現行のバス台数で運行可能な時間まで延長できるか検討する。

30分間隔であるので待ち時間が長い問題の改善策



- ・現行のバス台数で運行本数を増やせるか検討する。
- ・中町循環と東町循環との一体化した場合の運行本数について検討する。

(5) 野川・七軒家循環

<課題>

バスの乗車定員が10名なので乗れないことがある。

- ・乗れない場合には30分待ちとなる。

30分間隔であるので待ち時間が長い。

- ・利用者アンケートでは運行本数の増加が48.5%と5路線のなかでは最も多い。

前原町2丁目バス停より東側ではC o C oバスが利用できない地域がある。

<改善策検討>

特徴

ミニバス(定員10人)で、始発が9:05~20:05までは30分間隔で運行している。このため「通勤」での利用が8.8%と5路線の中では最も少なく、「買物」が33.8%と5路線の中では2番目に高いのが特徴である。また、「通院+福祉サービス」が22%と5路線の中では最も多く、高齢者の利用が多いことを示している。

始発終発時刻については「始発を早く」が路線の平均よりはやや高い程度であるが、運行本数については本数の増加が48.5%と5路線の中では最も多く、乗車定員が10名のため、乗れなければ30分待ちとなるので要望は強いものである。

バスの乗車定員が10名なので乗れないことがある問題の改善策



- ・運行本数を増加することの必要性を検討する。
- ・バスを増車することができるか検討する。

30分間隔であるので待ち時間が長い問題の改善策



- ・ の対策で検討する。

前原町2丁目バス停より東側ではC o C oバスが利用できない地域がある問題の改善策



- ・現況のルートから延伸することで可能か検討する。
- ・交通規制、道路幅員、信号機などの制約と現行の路線バスの運行ルートを考慮しながら検討する。

7. 見直し方針案

今後のC o C oバスの運行およびルートの変更については、以下の見直し方針が考えられる。

(1) 共通課題

今回の調査結果から、全体の共通課題として運行時間の拡大を要望する声が多く、通勤目的の需要が高いことがわかった。現行の運行ダイヤでは、北東部循環と野川・七軒家循環を除いて終発時間が19時発であるため、今後は2つの路線に合わせて終発時間を20時発に延長するといったことが方針として挙げられる。なお、早朝便の運行については、各循環の運行状況を踏まえたうえで検討していくこととする。

(2) 北東部循環

北東部循環は、ルートが大回りであることから、逆回り運行やルートの二分割等が要望として出ていると推測できる。しかし利用者の中には、現行のルートに利便性を感じている方もいるため、慎重に検討すべき課題である。

(3) 貫井前原循環

貫井前原循環は以前から早朝便の要望があり、今回の調査結果からも同様の要望が多数出ている。しかし早朝便を運行する場合、現行ルートではスクールゾーンの問題があるため、ルートを変更する必要がある。早朝のみのルート変更案を検討することとする。

(4) 東町循環

東町循環は、連雀通りから南側の要望が出ている。道路幅員が狭いため、走行できるルートが限られるが、検討する必要がある。

(5) 中町循環

中町循環は利便性を求めて、東小金井駅を繋いでほしいという要望が出ている。市では以前から中長期的な構想として、経費削減や利便性向上を図るために中町循環と東町循環の一体化を視野に入れている。

(6) 野川・七軒家循環

野川・七軒家循環は、以前から乗り残しの問題があり、今回の調査結果からも増便に対して多くの要望が出ている。しかし、現行のダイヤを30分間隔から20分間隔にするためには、新たに車両を購入する必要がある。運行本数の増加の必要性和バスの増車の可能性について検討を進めることとする。

8. 運行計画案

市民アンケート調査および利用者アンケート調査、グループインタビュー調査から明らかになった課題を受けて、実際に現地の道路について交通規制、道路幅員、信号機位置などを調査してルートの延伸、新設などの計画案を作成した。

ルートの走行時間については、現況の走行環境に近いとして、現行走行時間からバス停間の所要時間を設定した。なお、バスの効率的な運行と乗車時間から、原則として一周の所要時間を30分以内となるようにルートを考えた。

計画案は短期で実現可能な案と、長期的に社会情勢の変化に対応して検討すべき案に分けて作成した。

4.3.7 「C o C oバス」の平日の運行について

(1) 始発、最終バスの時間帯について（複数回答）

始発、最終の時間帯については、通勤時間帯に運行している北東部では「現行の時間帯でよい」が41.4%と高いが、貫井前原 11.7%、東町 16.2%、中町 25.3%とこの比率が低く、中でも貫井前原は「始発を早くしてほしい」が42.8%と路線別では最も高くなっている。

路線別 利用者アンケート

始発最終	北東部	貫井前原	東町	中町	野川・七軒家	不明	合計
現行の時間帯でよい	109	30	16	22	20	3	200
始発を早くしてほしい	37	110	37	26	20	0	230
最終バスを遅くしてほしい	114	115	46	39	23	0	337
その他	3	2	0	0	0	0	5
合計	263	257	99	87	63	3	772

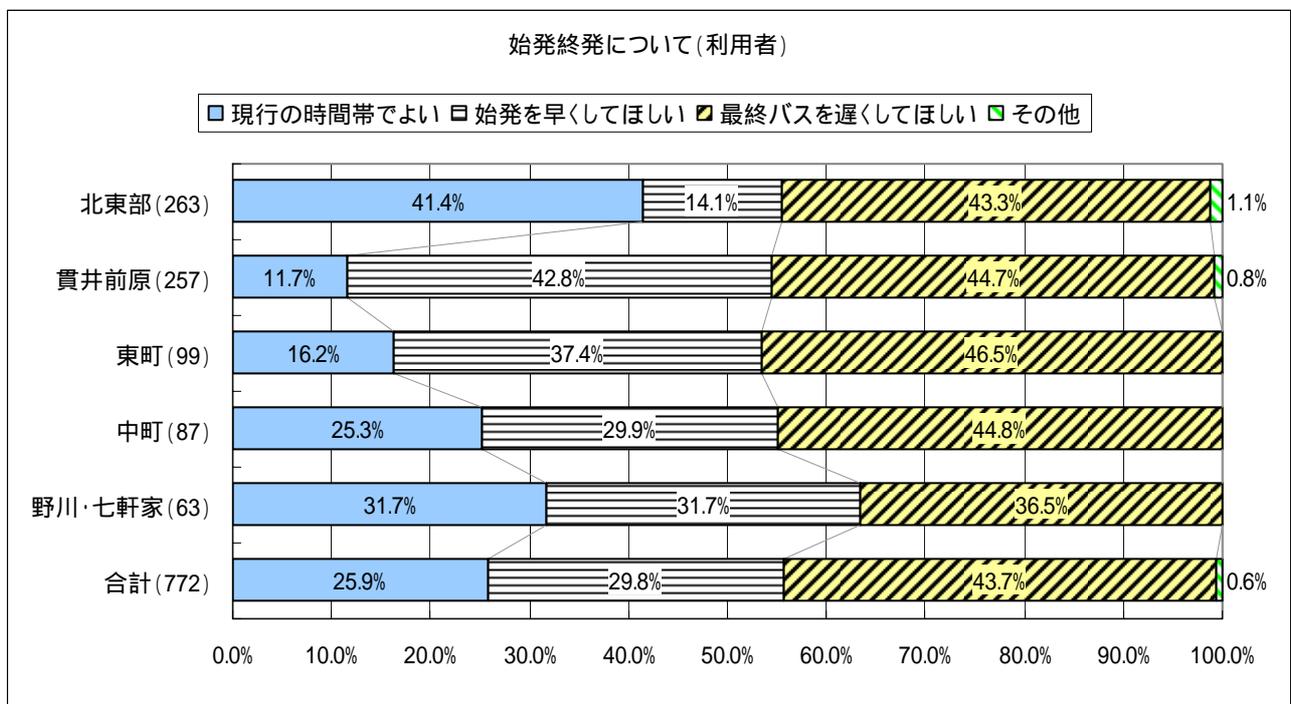


図 4.3 - 17 路線別の始発、最終の時間帯

市民と利用者の両アンケート調査での始発終発の時刻の要望を合計して以下に示す。

始発終発の要望は、始発では、「7時」が107件と最も多く、次いで、「8時」が104件、「8時30分」が33件となっている。

終発では、「21時」が172件と最も多く、次いで、「20時」が103件、「22時」が68件となっている。

市民+利用者アンケートの合計

始発		
地区	時間帯	件数
全体	5:00	2
	6:00	30
	6:30	25
	7:00	107
	7:30	20
	8:00	104
	8:30	33
	9:00	6
	合計	327

最終バス		
地区	時間帯	件数
全体	18:00	2
	19:00	3
	19:30	14
	20:00	103
	20:30	39
	21:00	172
	21:30	37
	22:00	68
	22:30	17
	23:00	13
	23:30	2
	24:00	5
	25:00	2
	合計	477

(2) 運行本数について

「現行の運行本数でよい」とする比率が高いのが貫井前原であり、最も低いのが野川・七軒家である。

路線別 利用者アンケート

運行本数	北東部	貫井前原	東町	中町	野川・七軒家	不明	合計
現行の運行本数でよい	125	101	34	27	15	1	303
運行本数を増やしてほしい	99	63	34	30	33	0	259
もっと少なくてよい	0	2	0	0	0	0	2
その他	13	1	4	7	7	1	33
不明	72	51	24	13	13	1	174
合計	309	218	96	77	68	3	771

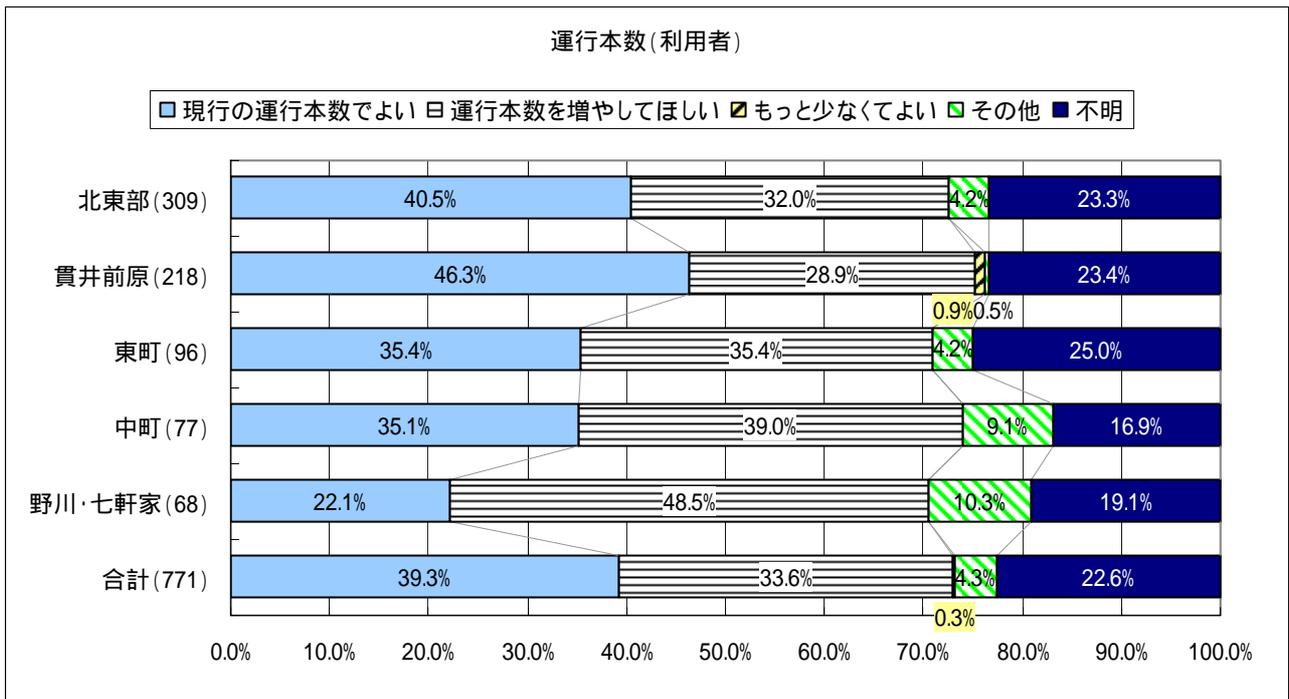


図 4.3 - 18 路線別の運行本数

9.2 アンケートの集計結果(表)

市民アンケート(住所別)

平日の外出目的

外出目的	東町	梶野町	関野町	緑町	中町	前原町	本町	桜町	貫井北町	貫井南町	不明	合計
通勤	49	33	3	75	46	52	81	11	30	52	3	435
業務(商談、納品)	3	3	0	0	0	0	2	0	3	2	0	13
通学(塾を含む)	3	2	2	6	3	7	5	0	6	8	0	42
買物	44	24	6	36	28	37	48	19	18	42	2	304
通院	7	5	0	5	6	3	4	1	3	10	0	44
福祉サービス利用	0	1	0	0	0	2	0	0	1	1	0	5
私用(雑事)	12	7	1	17	6	11	14	2	7	11	1	89
レジャー・娯楽	5	0	0	1	2	1	4	0	3	1	0	17
その他	2	2	0	4	7	2	4	2	3	1	1	28
不明	1	1	0	0	0	4	3	0	1	1	0	11
合計	126	78	12	144	98	119	165	35	75	129	7	988

平日の外出頻度

外出頻度	東町	梶野町	関野町	緑町	中町	前原町	本町	桜町	貫井北町	貫井南町	不明	合計
ほぼ毎日(週5日程度)	74	53	3	87	59	66	116	14	47	69	3	591
週に2~3回	39	10	6	33	25	39	33	14	22	40	1	262
週に1回程度	5	6	2	13	3	6	4	4	1	10	1	55
月に1~2回程度	5	6	0	6	6	1	6	1	3	6	1	41
年に1~3回	2	0	0	2	0	0	1	1	1	0	0	7
その他	0	1	1	2	4	2	2	1	0	3	1	17
不明	1	2	0	1	1	5	3	0	1	1	0	15
合計	126	78	12	144	98	119	165	35	75	129	7	988

平日の交通手段

交通手段	東町	梶野町	関野町	緑町	中町	前原町	本町	桜町	貫井北町	貫井南町	不明	合計
電車	78	54	6	94	54	61	98	15	41	68	4	573
CoCoバス	31	20	6	40	21	25	12	4	2	32	1	194
路線バス	11	13	3	13	4	31	20	13	27	34	1	170
自家用車	22	14	4	20	16	18	15	6	12	25	1	153
タクシー	6	7	1	6	7	7	6	2	2	3	0	47
バイク	0	0	1	4	0	3	1	2	1	4	1	17
自転車	65	30	5	63	32	38	44	16	30	45	2	370
徒歩	36	21	2	43	37	40	69	11	24	34	2	319
その他	0	5	0	2	1	2	1	1	2	7	0	21
合計	249	164	28	285	172	225	266	70	141	252	12	1,864

鉄道利用駅

電車の利用駅	東町	梶野町	関野町	緑町	中町	前原町	本町	桜町	貫井北町	貫井南町	不明	合計
武蔵小金井駅	2	1	1	43	39	60	96	14	36	53	2	347
東小金井駅	58	52	4	50	15	0	1	0	0	0	1	181
新小金井駅	13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13
その他	4	1	1	0	0	1	1	1	5	14	1	29
合計	77	54	6	93	54	61	98	15	41	67	4	570

「CoCoバス」の利用経験

	東町	梶野町	関野町	緑町	中町	前原町	本町	桜町	貫井北町	貫井南町	不明	合計
利用したことがある	92	51	10	115	62	58	80	18	16	86	5	593
利用したことがない	33	27	2	28	33	61	85	17	59	43	1	389
不明	1	0	0	1	3	0	0	0	0	0	1	6
合計	126	78	12	144	98	119	165	35	75	129	7	988

利用される曜日

	東町	梶野町	関野町	緑町	中町	前原町	本町	桜町	貫井北町	貫井南町	不明	合計
平日の利用	69	38	9	70	36	39	42	11	8	58	2	382
休日の利用	22	11	1	45	23	17	36	7	8	26	3	199
不明	1	2	0	0	3	2	2	0	0	2	0	12
合計	92	51	10	115	62	58	80	18	16	86	5	593

利用されている路線

種類	東町	梶野町	関野町	緑町	中町	前原町	本町	桜町	貫井北町	貫井南町	不明	合計
北東部循環	10	47	10	110	10	13	65	16	14	4	1	300
貫井前原循環	0	0	0	1	0	20	5	1	0	81	2	110
東町循環	46	2	0	0	2	0	1	0	0	0	0	51
中町循環	36	0	0	2	37	1	7	0	2	0	0	85
野川・七軒家循環	0	0	0	0	12	24	1	1	0	0	1	39
不明	0	2	0	2	1	0	1	0	0	1	1	8
合計	92	51	10	115	62	58	80	18	16	86	5	593

始発終発の増便の要望

増便の要望	東町	梶野町	関野町	緑町	中町	前原町	本町	桜町	貴井北町	貴井南町	不明	合計
朝の始発を早くする	31	6	1	8	17	15	1	1	3	37	1	121
夜の最終バスを遅くする	31	11	2	43	20	18	3	2	2	40	2	174
その他	5	4	0	7	11	6	1	1	1	3	1	40
合計	67	21	3	58	48	39	5	4	6	80	4	335

増便した場合の外出頻度

外出頻度	東町	梶野町	関野町	緑町	中町	前原町	本町	桜町	貴井北町	貴井南町	不明	合計
ほぼ毎日(週5日程度)	5	3	0	3	9	1	1	0	1	15	0	38
週に2~3回	15	4	1	15	12	15	2	2	3	16	0	85
週に1回程度	13	1	0	9	6	5	2	1	1	9	0	47
月に1~2回程度	8	4	0	13	6	5	2	1	0	5	2	46
年に1~3回	4	3	1	1	1	1	0	0	0	0	1	12
その他	0	1	0	3	0	0	0	1	0	1	0	6
不明	2	1	0	3	3	1	1	0	0	4	0	15
合計	47	17	2	47	37	28	8	5	5	50	3	249

今後の「CoCoバス」の運行について

今後の運行について	東町	梶野町	関野町	緑町	中町	前原町	本町	桜町	貴井北町	貴井南町	不明	合計
補助金を出し続け、現行の運賃で運行してほしい	77	47	8	91	59	63	77	17	26	70	3	538
補助金を減らすため、運賃を値上げて運行してほしい	5	3	1	10	4	6	10	2	10	6	0	57
補助金を減らすため、運行を短縮してほしい	3	2	0	5	2	4	6	0	5	5	0	32
わからない	14	6	1	14	12	9	24	7	7	17	2	113
その他	9	8	1	6	6	7	14	2	7	11	0	71
不明	18	12	1	18	15	30	34	7	20	20	2	177
合計	126	78	12	144	98	119	165	35	75	129	7	988

「CoCoバス」の今後の増便等の運行について

今後の増便等の運行について	東町	梶野町	関野町	緑町	中町	前原町	本町	桜町	貴井北町	貴井南町	不明	合計
補助金が増え、現行の運賃で、ルート変更や増便を実施してほしい	26	12	2	28	24	22	15	1	12	27	2	171
補助金を増やさず、運賃を値上げて、ルート変更や増便を実施してほしい	10	10	1	8	6	5	7	2	7	6	0	62
補助金を増やさず、現行の運賃・ルートのみでよい	30	15	4	34	15	21	32	10	2	24	1	188
現行の補助金程度に収まる範囲で利用状況などに応じて路線を再編成する	26	22	1	38	29	24	51	8	25	31	1	256
わからない	12	4	2	9	5	9	15	4	2	11	1	74
その他	3	2	1	6	4	6	12	2	9	9	0	54
不明	19	13	1	21	15	32	33	8	18	21	2	183
合計	126	78	12	144	98	119	165	35	75	129	7	988

回答者の性別

性別	東町	梶野町	関野町	緑町	中町	前原町	本町	桜町	貴井北町	貴井南町	不明	合計
男性	47	30	5	61	35	43	64	9	33	47	0	374
女性	79	46	7	83	63	76	100	26	42	82	2	606
不明	0	2	0	0	0	0	1	0	0	0	5	8
合計	126	78	12	144	98	119	165	35	75	129	7	988

回答者の年齢

年齢	東町	梶野町	関野町	緑町	中町	前原町	本町	桜町	貴井北町	貴井南町	不明	合計
10歳代	2	1	0	5	2	4	3	0	1	3	0	21
20歳代	10	8	2	16	5	7	11	3	6	14	0	82
30歳代	18	15	2	26	23	15	28	5	12	19	1	164
40歳代	22	15	0	29	16	23	31	7	13	22	0	178
50歳代	20	13	3	28	14	19	33	8	15	22	0	175
60歳代	27	14	2	20	17	23	29	7	8	29	0	176
70歳代	15	4	2	14	12	18	19	2	13	12	0	111
80歳以上	12	8	1	6	9	9	11	3	7	8	1	75
不明	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	5	6
合計	126	78	12	144	98	119	165	35	75	129	7	988

回答者の職業

職業	東町	梶野町	関野町	緑町	中町	前原町	本町	桜町	貴井北町	貴井南町	不明	合計
会社員	35	24	2	51	27	28	57	7	14	31	1	277
自営業	12	5	1	7	6	5	13	1	5	6	1	62
専業主婦	37	22	4	28	29	29	37	17	22	40	0	265
公務員	1	5	0	5	4	6	3	1	5	7	0	37
学生	3	2	1	6	3	6	5	0	7	10	0	43
パート・アルバイト	12	7	1	24	13	19	22	4	8	14	0	124
その他	23	12	3	21	10	22	23	3	13	18	0	148
不明	3	1	0	2	6	4	5	2	1	3	5	32
合計	126	78	12	144	98	119	165	35	75	129	7	988

利用者アンケート（路線別）

本日の外出目的

外出目的	北東部	貫井前原	東町	中町	野川・七軒家	不明	合計
通勤	108	56	22	7	6	0	199
業務(商談、納品)	7	5	2	0	0	0	14
通学(塾を含む)	6	10	1	3	3	0	23
買物	84	61	23	33	23	0	224
通院	27	21	13	13	12	1	87
福祉サービス利用	5	2	0	2	3	0	12
私用(雑事)	46	45	19	13	19	0	142
レジャー・娯楽	13	12	8	2	1	0	36
その他	11	5	8	4	1	0	29
不明	2	1	0	0	0	2	5
合計	309	218	96	77	68	3	771

本日の利用形態

利用形態	北東部	貫井前原	東町	中町	野川・七軒家	不明	合計
往復	140	116	43	43	32	0	374
行きのみ	114	35	27	19	14	0	209
帰りのみ	55	67	26	15	22	1	186
不明	0	0	0	0	0	2	2
合計	309	218	96	77	68	3	771

本日の利用頻度

利用頻度	北東部	貫井前原	東町	中町	野川・七軒家	不明	合計
ほぼ毎日(週5日程度)	109	47	16	13	18	0	203
週に2~3回	114	92	42	32	32	0	312
週に1回程度	44	47	19	19	12	0	141
月に1~2回程度	34	22	14	10	3	1	84
年に1~3回	2	5	2	0	2	0	11
その他	6	5	2	3	1	0	17
不明	0	0	1	0	0	2	3
合計	309	218	96	77	68	3	771

始発、最終バスの時間帯について

始発終発	北東部	貫井前原	東町	中町	野川・七軒家	不明	合計
現行の時間帯でよい	109	30	16	22	20	3	200
始発を早くしてほしい	37	110	37	26	20	0	230
最終バスを遅くしてほしい	114	115	46	39	23	0	337
その他	3	2	0	0	0	0	5
合計	263	257	99	87	63	3	772

運行本数について

運行本数	北東部	貫井前原	東町	中町	野川・七軒家	不明	合計
現行の運行本数でよい	125	101	34	27	15	1	303
運行本数を増やしてほしい	99	63	34	30	33	0	259
もっと少なくてよい	0	2	0	0	0	0	2
その他	13	1	4	7	7	1	33
不明	72	51	24	13	13	1	174
合計	309	218	96	77	68	3	771

定時走行について

定時走行	北東部	貫井前原	東町	中町	野川・七軒家	不明	合計
ほぼ時刻表通りに運行している	139	87	62	46	52	3	389
時刻表より遅れて運行することがややあるが、やむを得ない範囲と思う	89	73	9	19	2	0	192
時刻表より遅れて運行することが多く、不満である	6	9	3	0	0	0	18
その他	10	1	0	0	0	0	11
不明	65	48	22	12	14	0	161
合計	309	218	96	77	68	3	771

C o C o バス（貫井前原循環、東町循環、野川・七軒家循環）
の提案及び報告について

目 次

C o C o バス貫井前原循環の早朝便及び延長ルートについて・・・・・・・・・・ P 1～4

C o C o バス東町循環 始発・終発時間の拡大についての概要・・・・・・・・・・ P 5

C o C o バス野川・七軒家循環 乗り残し客数について・・・・・・・・・・ P 6～8

CoCoバス貫井前原循環について

・小金井市より「貫井前原循環」に関して、以下の提案をした。

- (1) 貫井前原循環の早朝便 (2) 貫井前原循環のルート延長

・運行事業者の提案

(1)については、下記ルートにて路線バスでの対応

(2)については、新小金井街道及び小金井市街道沿いの現存バス路線上に新規バス停を設置することで対応

※(2)のルートについては、別紙参照



凡例	
	CoCoバス貫井前原循環
	路線バス・西ノ久保循環
	路線バス・既存ルート追加(案)
	路線バス・新設ルート(案)

既存ルート追加(案)		6時台2本
新設ルート(案)		7時台2本

(2) 貫井前原循環のルート延長に対する運行事業者の代案

代案：路線バスルート上に新規バス停を設置することで、貫井前原地区の市民要望に応える。

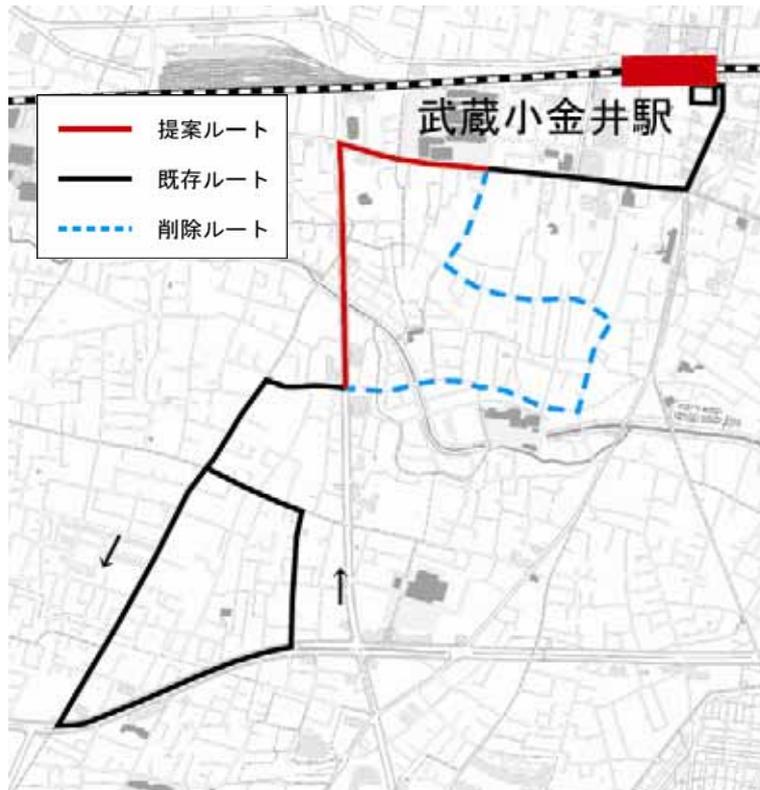


	府中駅～武蔵小金井駅南口
	東府中駅～武蔵小金井駅南口
	CoCoバス貫井前原循環 現行ルート
	CoCoバス貫井前原循環 延長ルート(案)

8.1 短期的な計画

提案ルート1（貫井前原循環の早朝便）

- ・既存の貫井前原循環は、9：00 以前は通行規制区間（平代坂下～前原小学校前）があり、現行ルートでは通勤時間帯には対応できない。
- ・9：00 以前については別ルートを設定して運行することとし、新小金井道路を通り、通行規制区間を回避するルートとした。
- ・新小金井街道は既存路線バスが多いため、バス停の設置を少なくすると時間短縮にもなるので、通勤のためのバスと位置付ける。

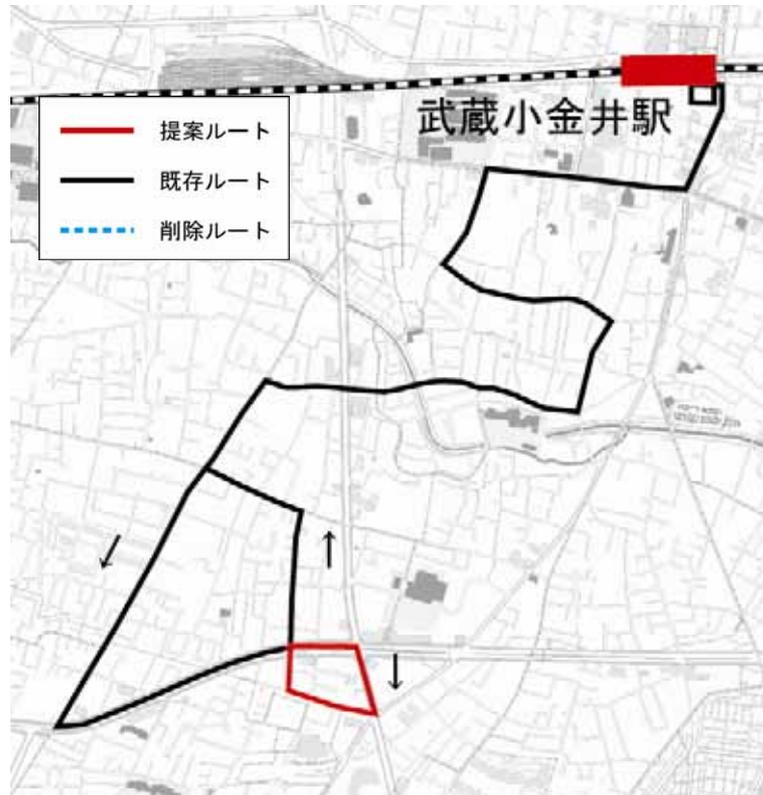


	バス停名		バス停名	距離 (m)	時間 (分)
0	武蔵小金井駅南口	1	小金井市第二庁舎	620	2
1	小金井市第二庁舎	2	小金井市役所前	185	0
2	小金井市役所前	7	ハナダイコン緑地	1,105	5
7	ハナダイコン緑地	8	貫井南センター入口	155	1
8	貫井南センター入口	9	池の上通り	215	1
9	池の上通り	10	貫井団地	150	0
10	貫井団地	11	新町東公園	245	1
11	新町東公園	12	新町一丁目東	100	1
12	新町一丁目東	13	新町二丁目北	365	1
13	新町二丁目北	14	千手院東	590	1
14	千手院東	15	貫井南町二丁目	415	2
15	貫井南町二丁目	16	貫井南センター入口	140	1
16	貫井南センター入口	17	ハナダイコン緑地	155	1
17	ハナダイコン緑地	22	小金井市役所前	1,105	5
22	小金井市役所前	23	小金井市第二庁舎	185	1
23	小金井市第二庁舎	0	武蔵小金井駅南口	475	4
合計				6,205	27

注) は新設ルートで所要時間は推定値である

提案ルート D-2

- ・既存の貫井前原循環のルートに東八道路より南側の貫井南町1丁目を通るルートとした。
- ・一周の所要時間は33分と想定した。



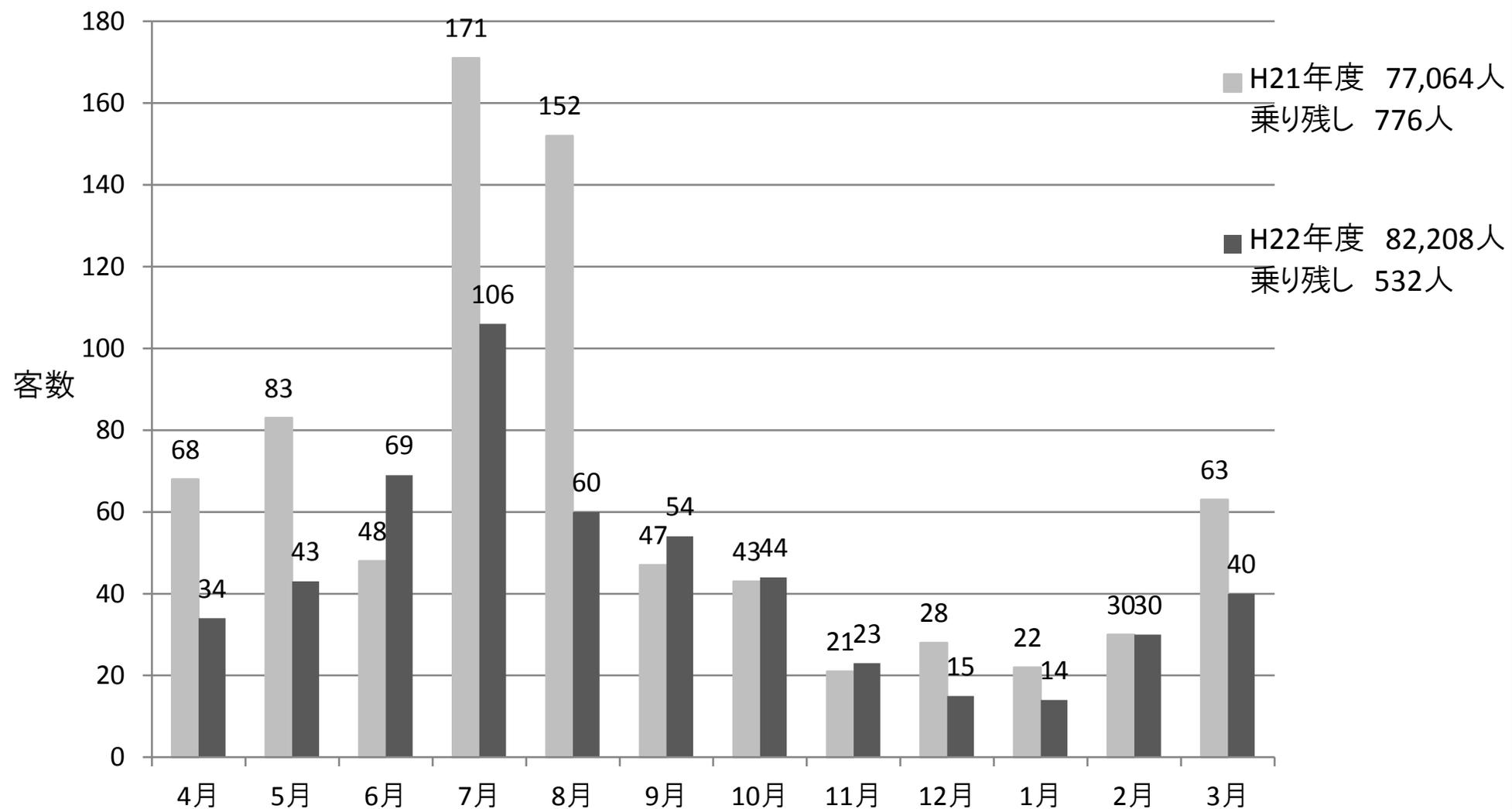
	バス停名		バス停名	距離 (m)	時間 (分)
0	武蔵小金井駅南口	1	小金井市第二庁舎	620	2
1	小金井市第二庁舎	2	小金井市役所前	185	0
2	小金井市役所前	3	平代坂下	370	2
3	平代坂下	4	幡随院	150	1
4	幡随院	5	神明宮入口	295	1
5	神明宮入口	6	前原小学校前	315	1
6	前原小学校前	7	ハナダイコン緑地	480	2
7	ハナダイコン緑地	8	貫井南センター入口	155	1
8	貫井南センター入口	9	池の上通り	215	1
9	池の上通り	10	貫井団地	150	0
10	貫井団地	11	新町東公園	245	1
11	新町東公園	12	新町一丁目東	100	1
12	新町一丁目東	13	新町二丁目北	365	1
13	新町二丁目北	14	千手院東	995	4
14	千手院東	15	貫井南町二丁目	415	2
15	貫井南町二丁目	16	貫井南センター入口	140	1
16	貫井南センター入口	17	ハナダイコン緑地	155	1
17	ハナダイコン緑地	18	前原小学校前	480	1
18	前原小学校前	19	神明宮入口	315	1
19	神明宮入口	20	幡随院	295	1
20	幡随院	21	平代坂下	150	1
21	平代坂下	22	小金井市役所前	370	2
22	小金井市役所前	23	小金井市第二庁舎	185	1
23	小金井市第二庁舎	0	武蔵小金井駅南口	475	4
合計				7,620	33

C o C o バス東町循環

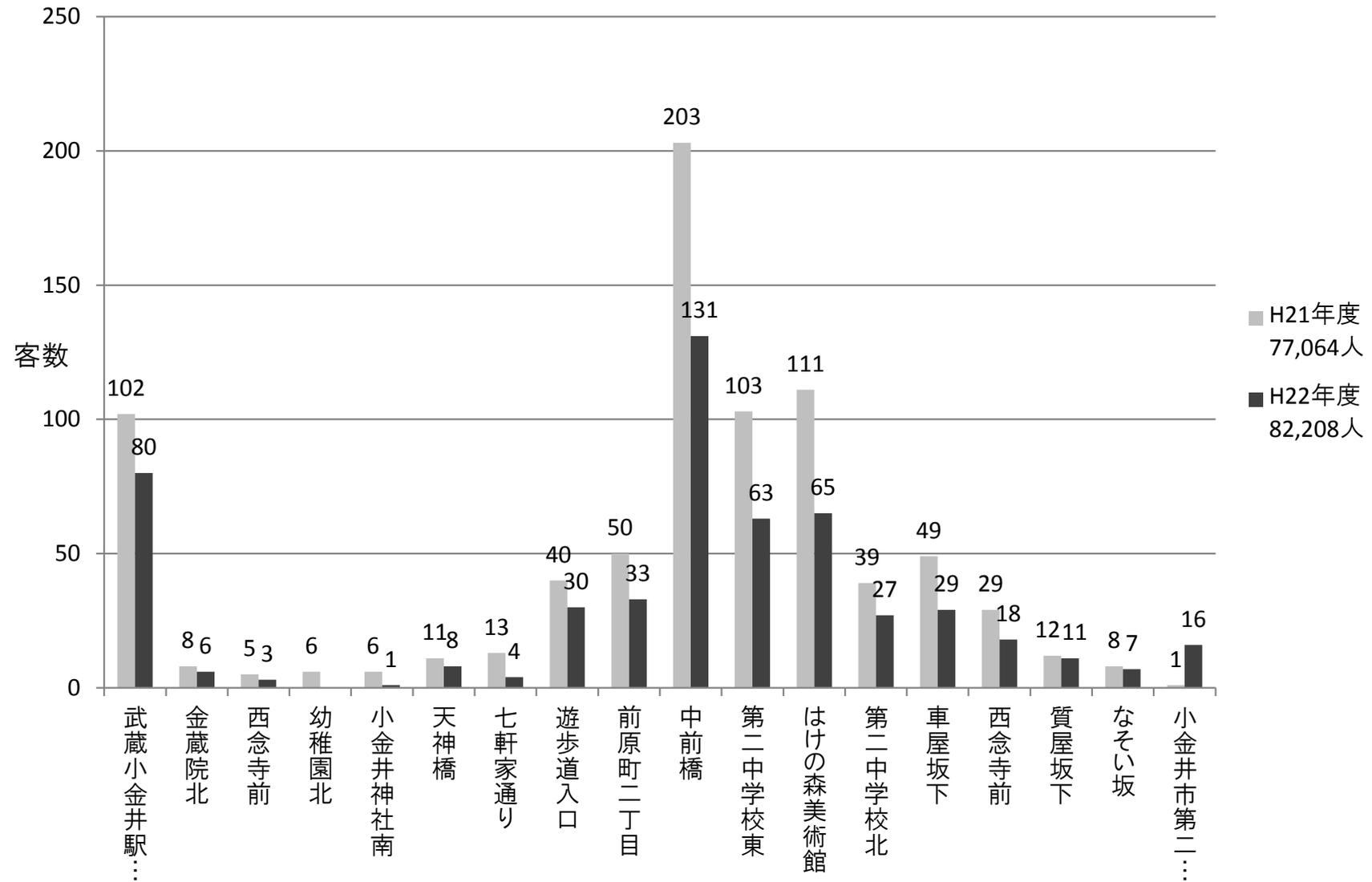
始発・終発時間の拡大についての概要

- (1) 運行時間
 - ・ 始発7時から/終発20時まで
 - ※ 終発については、試験運行終了後も20時発継続で京王バスと協議中
- (2) 運行間隔
 - ・ 30分間隔
- (3) 開始時期
 - ・ 平成23年度10月(予定)
- (4) 試験運行期間
 - ・ 最長6ヶ月(平成23年度までの実施とする)
- (5) ルート
 - ・ 変更なし
 - ※ 現行ルート上にスクールゾーンなし
- (6) 広報について
 - ・ 自治会、町内会への回覧
 - ・ C o C o バス車内でのポスター掲示及び放送
 - ・ 小金井市HP及び市報への掲載
- (7) 試験運行にあたって
 - ・ 市民及び利用者に対しては、予め試験運行の実施目的、導入経緯、継続の基準を周知させることで、事業の透明性を図る。

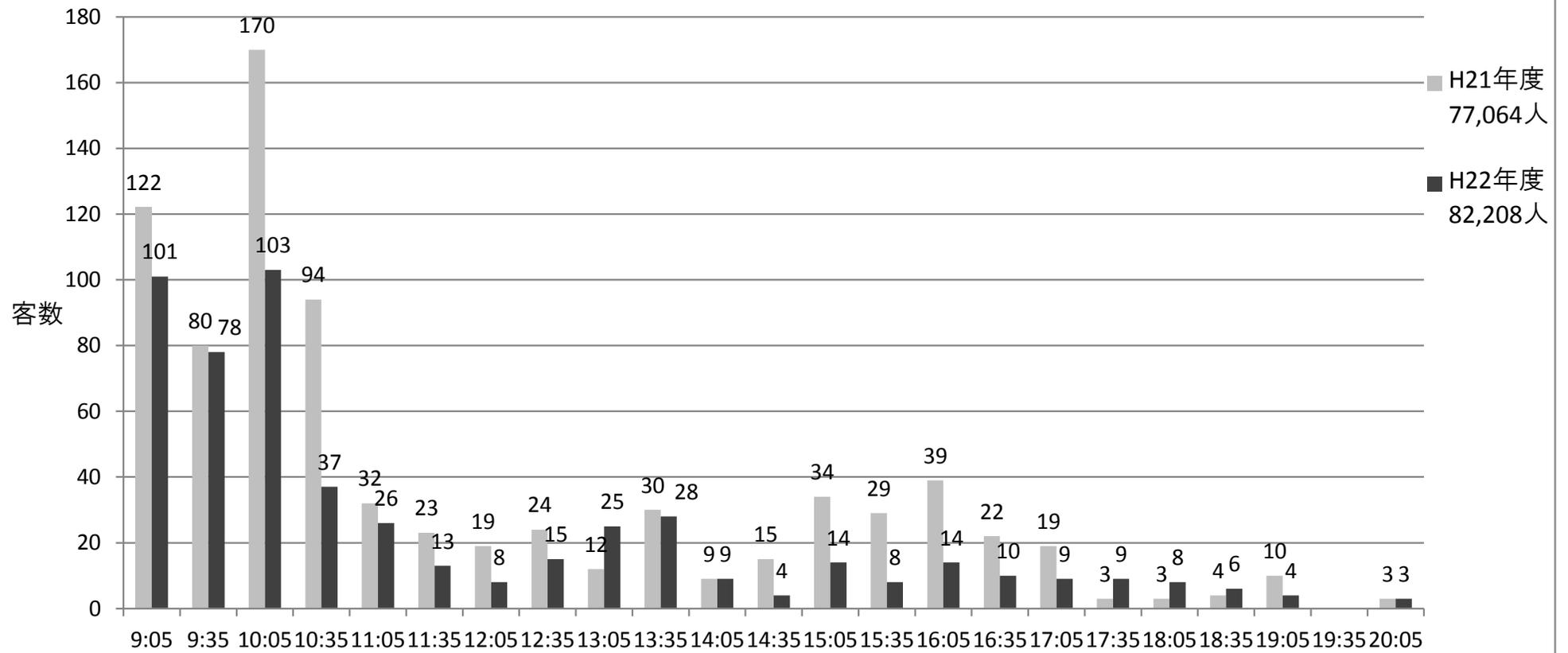
CoCoバス野川・七軒家循環 月別乗り残し客数(H21・H22年度分)



CoCoバス野川・七軒家循環 停留所別乗り残し客数(H21・H22年度分)



CoCoバス野川・七軒家循環 時間帯別乗り残し客数(H21・H22年度分)



コミュニティバス年度別収支表

(単位：円)

ル ー ト 名	年度	決算額 (A) - [(B) + (C)]			
		運行収入額	運行経費	停留所設置等	決算額
		(A)	(B)	(C)	
北東部循環	H 1 4	2,583,742	2,922,316	4,643,100	-4,981,674
	H 1 5	35,313,784	32,998,374	0	2,315,410
	H 1 6	40,399,149	34,892,453	0	5,506,696
	H 1 7	51,994,157	39,295,156	0	12,699,001
	H 1 8	53,043,006	39,427,944	557,286	13,057,776
	H 1 9	55,262,142	40,385,777	0	14,876,365
	H 2 0	54,505,124	40,728,476	244,650	13,531,998
	H 2 1	53,372,201	40,398,872	174,300	12,799,029
	H 2 2	53,564,944	40,600,451	22,365	12,942,128
貫井前原循環	H 1 6	475,737	1,310,782	1,815,555	-2,650,600
	H 1 7	13,271,967	27,871,369	727,650	-15,327,052
	H 1 8	14,308,743	27,679,650	139,230	-13,510,137
	H 1 9	15,356,953	28,289,274	0	-12,932,321
	H 2 0	16,163,607	29,186,928	742,875	-13,766,196
	H 2 1	21,048,901	31,283,099	5,250	-10,239,448
	H 2 2	21,856,407	28,807,148	0	-6,950,741
東町循環	H 1 6	188,910	721,249	1,106,910	-1,639,249
	H 1 7	6,355,379	14,612,421	143,955	-8,400,997
	H 1 8	6,829,984	14,770,658	0	-7,940,674
	H 1 9	7,315,128	14,920,724	0	-7,605,596
	H 2 0	7,695,774	14,964,495	0	-7,268,721
	H 2 1	6,915,480	14,917,592	359,100	-8,361,212
	H 2 2	7,315,240	15,016,367	0	-7,701,127
中町循環	H 1 7	5,106,973	15,796,927	1,838,111	-12,528,065
	H 1 8	6,848,892	16,153,536	0	-9,304,644
	H 1 9	7,596,705	16,427,834	0	-8,831,129
	H 2 0	8,216,671	16,719,336	0	-8,502,665
	H 2 1	10,736,019	18,688,841	5,775	-7,958,597
	H 2 2	11,572,852	16,602,550	0	-5,029,698
野川・七軒家循環	H 2 0	2,157,533	11,395,760	1,779,225	-11,017,452
	H 2 1	7,392,476	22,173,841	0	-14,781,365
	H 2 2	7,846,068	21,062,228	712,530	-13,928,690

小金井市地域公共交通会議設置要綱

(設置)

第1条 道路運送法(昭和26年法律第183号)の規定に基づき、地域における需要に応じた住民の生活に必要なバス等の旅客運送の確保その他旅客の利便の増進を図り、地域の実情に即した輸送サービスの実現に必要な事項を協議するため、小金井市地域公共交通会議(以下「交通会議」という。)を設置する。

(協議事項)

第2条 交通会議は、次に掲げる事項を協議するものとする。

- (1) 地域の実情に応じた適切な乗合旅客運送の態様及び運賃、料金等に関する事項
- (2) 市運営有償運送の必要性及び旅客から収受する対価に関する事項
- (3) コミュニティバス等地域の実情に即した輸送サービスに関する事項
- (4) 交通会議の運営方法その他交通会議が必要と認める事項

(交通会議の委員)

第3条 交通会議の委員は、次に掲げる者のうちから、市長が委嘱し、又は任命する。

- (1) 市内に在住、在勤又は在学している18歳以上の者
- (2) 一般乗合旅客自動車運送事業者及びその組織する団体を代表する者
- (3) 一般乗用旅客自動車運送事業者及びその組織する団体を代表する者
- (4) 一般旅客自動車運送事業者の事業用自動車の運転者が組織する団体を代表する者
- (5) 学識経験者
- (6) 関東運輸局長又はその指名する者
- (7) 道路管理者
- (8) 交通管理者
- (9) 市長又はその指名する者

2 前項第1号の委員は、公募によるものとする。

(任期)

第4条 委員の任期は、委嘱又は任命の日の属する年度の翌年度の末日までとする。ただし、再任を妨げない。

2 委員が欠けた場合における補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

3 役職により交通会議の委員となっている委員がその役職を退いたときは、当該役職の後任者の任期は、前任者の残任期間とする。

(交通会議の運営)

第5条 交通会議に会長及び副会長を置き、委員の中から互選により選任する。

2 会長は、交通会議を代表し、会務を総括する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代行する。

4 交通会議は、委員の過半数が出席しなければ、会議を開くことができない。

5 交通会議の議事は、出席委員の過半数をもって決し、可否同数の場合は、会長が決するところによる。

6 やむを得ない理由のため交通会議の会議に出席できない委員は、第3条第1号に規定する委員を除く委員については、あらかじめ書面をもって、同一の団体又は機関に所属する者を代理人として出席させ、合議及び表決を委任することができる。この場合において、第4項の規定の適用については、当該委員は出席したものとみなす。

7 会長は、必要と認めるときは、委員以外の者を会議に出席させ、説明又は助言を求めることができる。

8 交通会議の会議は、小金井市情報公開条例(平成14年条例第31号)第5条各号の規定に該当するものを除き、公開する。

9 交通会議の庶務は、都市整備部交通対策課交通対策係において行う。

(専門部会及び広域交通会議)

第6条 会長は、必要に応じて交通会議に専門部会を設置することができる。

2 交通会議は、近隣自治体に及ぶ協議事項に関して、広域の交通会議としての機能を兼ねることができる。

(協議結果の取扱い)

第7条 交通会議において協議が調った事項について、関係者はその結果を尊重し、当該事項の誠実な実施に努めるものとする。

(謝礼)

第8条 市は、第3条第1項第1号から第5号までの委員に対して、予算の範囲内で謝礼を支払う。

(委任)

第9条 この要綱に定めるもののほか、交通会議の運営に関して必要な事項は、会長が交通会議に諮り定める。

付 則

この要綱は、平成21年8月13日から施行する。

付 則

この要綱は、平成21年9月9日から施行し、この要綱による改正後の小金井市地域公共交通会議設置要綱の規定は、平成21年8月13日から適用する。